

【多文化共生に係る実態調査についてのアンケート】

調査期間 R7.2.3 ~ R7.2.16
回答率 78.0% 回答者数 347人

アンケートの趣旨

香川県における在留外国人数は、令和6年6月末には18,415人と過去最多になり、県民のおよそ2.00%が外国人となっています。

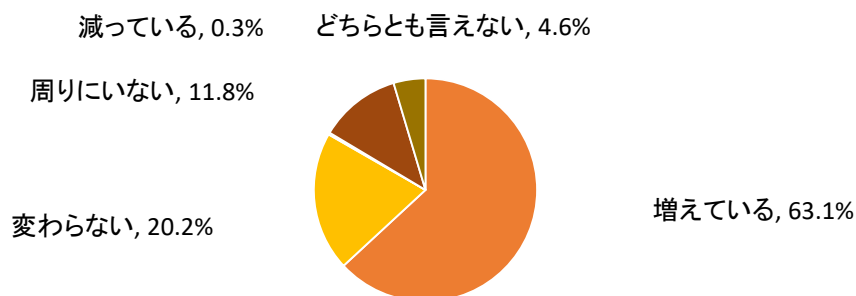
それに伴い、県内在住の外国籍住民の方の国籍、在留資格、ならびに年代・世代なども多様化しており、県では、ルーツの異なる人々が、互いの文化の違いを尊重しあいながら、地域社会の一員として、共に生きていくことによって社会全体をより豊かなものにしていこうという「多文化共生」を「国際交流」、「国際協力」と並ぶ、国際化推進の第3の柱として位置づけ、各種施策に取り組んでいるところです。

今後の取り組みの参考にしたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。

総務部知事公室国際課

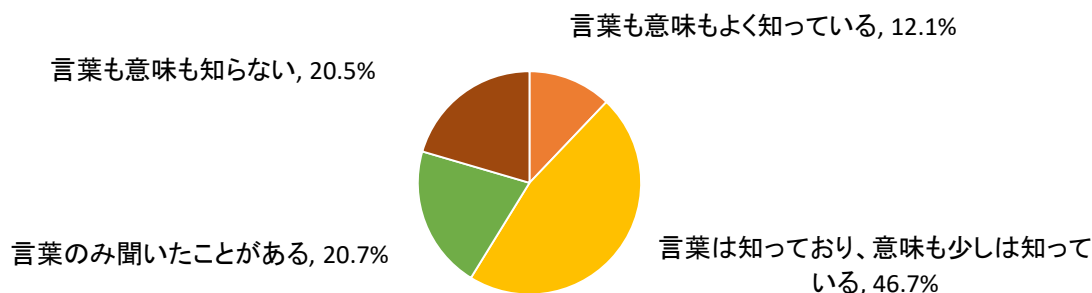
〔問１〕 あなたの近所や職場では外国人が増えたと感じていますか。次の中から１つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
増えている	219	63.1%
変わらない	70	20.2%
減っている	1	0.3%
周りにいない	41	11.8%
どちらとも言えない	16	4.6%
計	347	100.0%



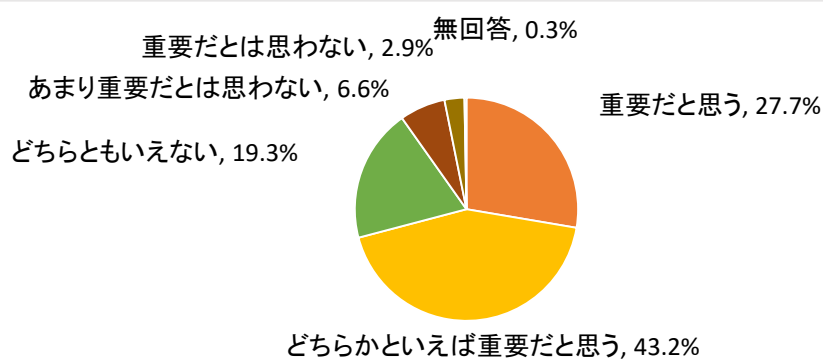
〔問２〕 あなたは、「多文化共生」という言葉や意味について、どの程度知っていますか。次の中から１つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
言葉も意味もよく知っている	42	12.1%
言葉は知っており、意味も少しは知っている	162	46.7%
言葉のみ聞いたことがある	72	20.7%
言葉も意味も知らない	71	20.5%
計	347	100.0%



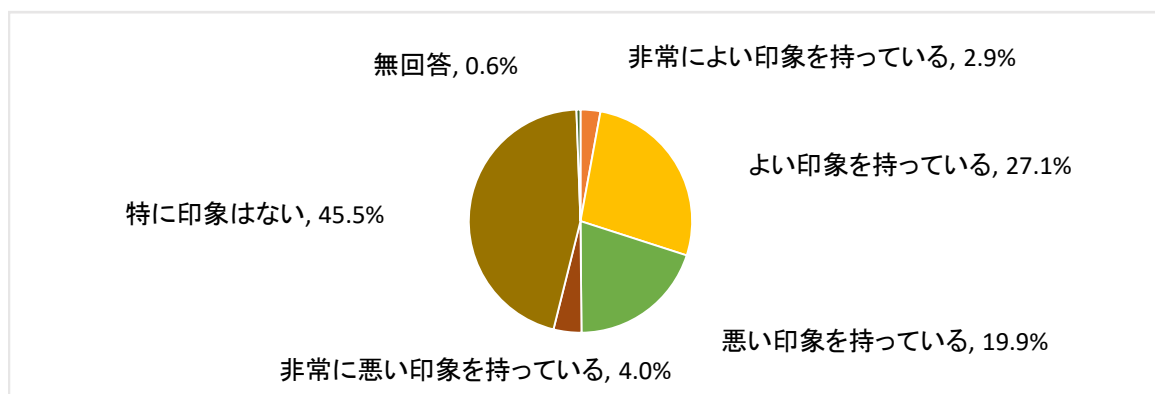
〔問３〕 あなたは、外国人と互いに認め合い、共に暮らす社会の実現について、どう思いますか。次の中から１つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
重要だと思う	96	27.7%
どちらかといえば重要だと思う	150	43.2%
どちらともいえない	67	19.3%
あまり重要だとは思わない	23	6.6%
重要だとは思わない	10	2.9%
無回答	1	0.3%
計	347	100.0%



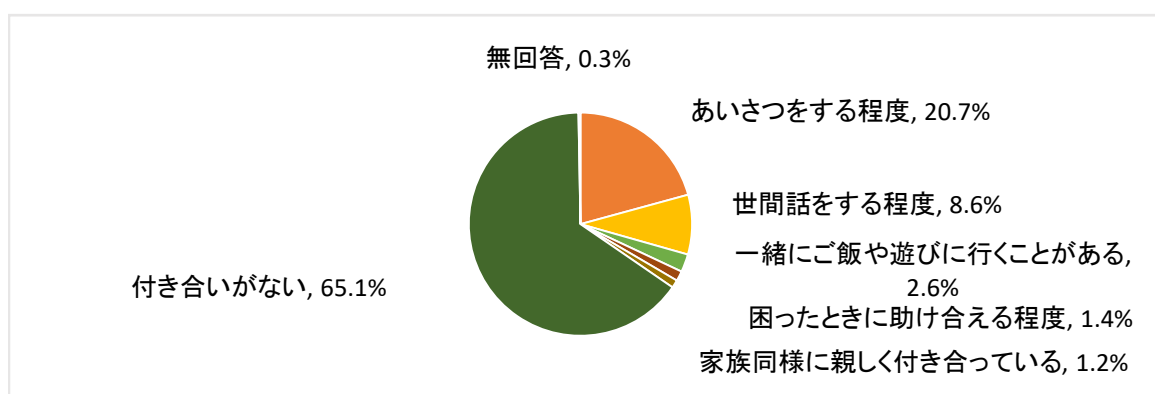
〔問４〕 あなたは普段、生活している中で、外国人に対してどのような印象を持っていますか。次の中から１つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
非常によい印象を持っている	10	2.9%
よい印象を持っている	94	27.1%
悪い印象を持っている	69	19.9%
非常に悪い印象を持っている	14	4.0%
特に印象はない	158	45.5%
無回答	2	0.6%
計	347	100.0%



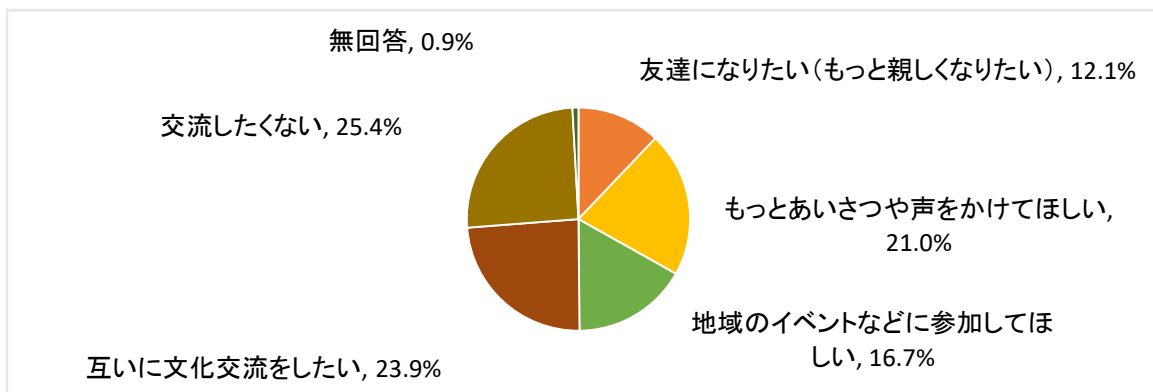
〔問５〕 日常生活において、外国人住民とどのような交流がありますか。次の中から１つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
あいさつをする程度	72	20.7%
世間話をする程度	30	8.6%
一緒にご飯や遊びに行くことがある	9	2.6%
困ったときに助け合える程度	5	1.4%
家族同様に親しく付き合っている	4	1.2%
付き合いがない	226	65.1%
無回答	1	0.3%
計	347	100.0%



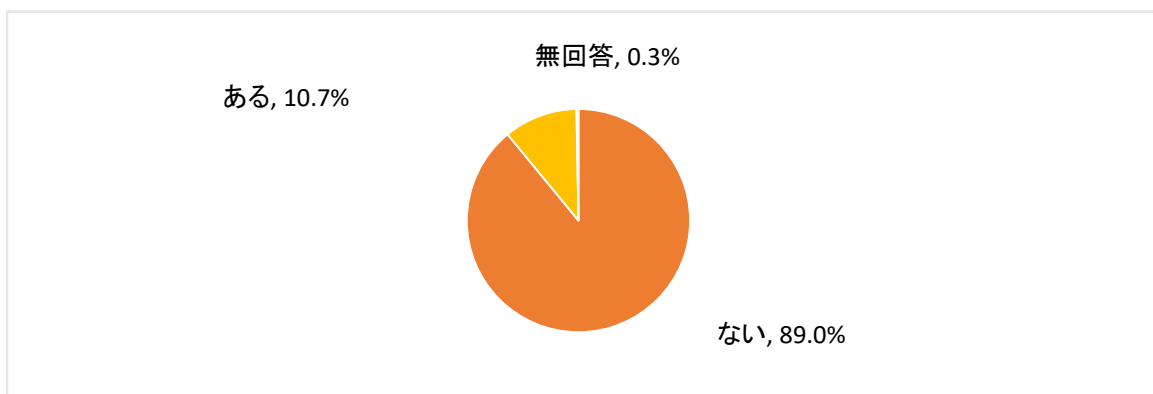
〔問６〕 まわりの外国人住民との間にどのような交流を希望しますか。次の中から１つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
友達になりたい(もっと親しくなりたい)	42	12.1%
もっとあいさつや声をかけてほしい	73	21.0%
地域のイベントなどに参加してほしい	58	16.7%
互いに文化交流をしたい	83	23.9%
交流したくない	88	25.4%
無回答	3	0.9%
計	347	100.0%



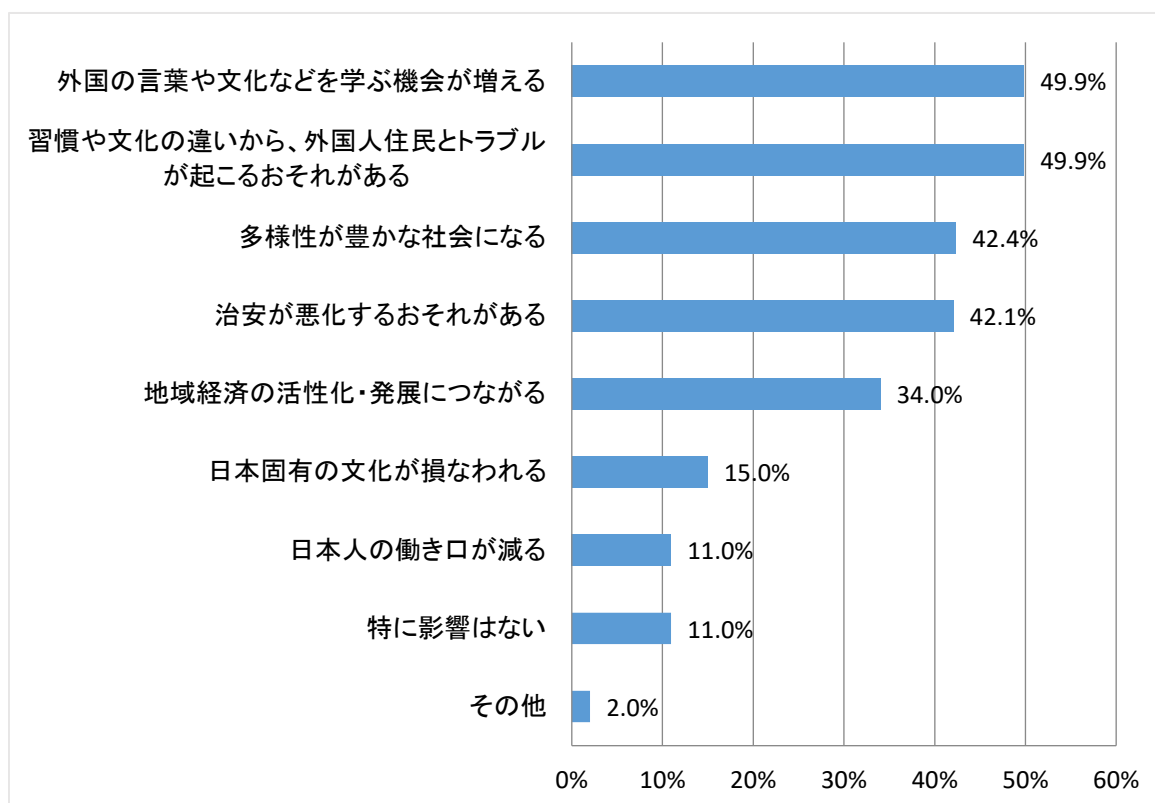
〔問７〕 あなたのお住まいの地域で、外国人住民とのトラブルがありますか。次の中からどちらか選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
ない	309	89.0%
ある	37	10.7%
無回答	1	0.3%
計	347	100.0%



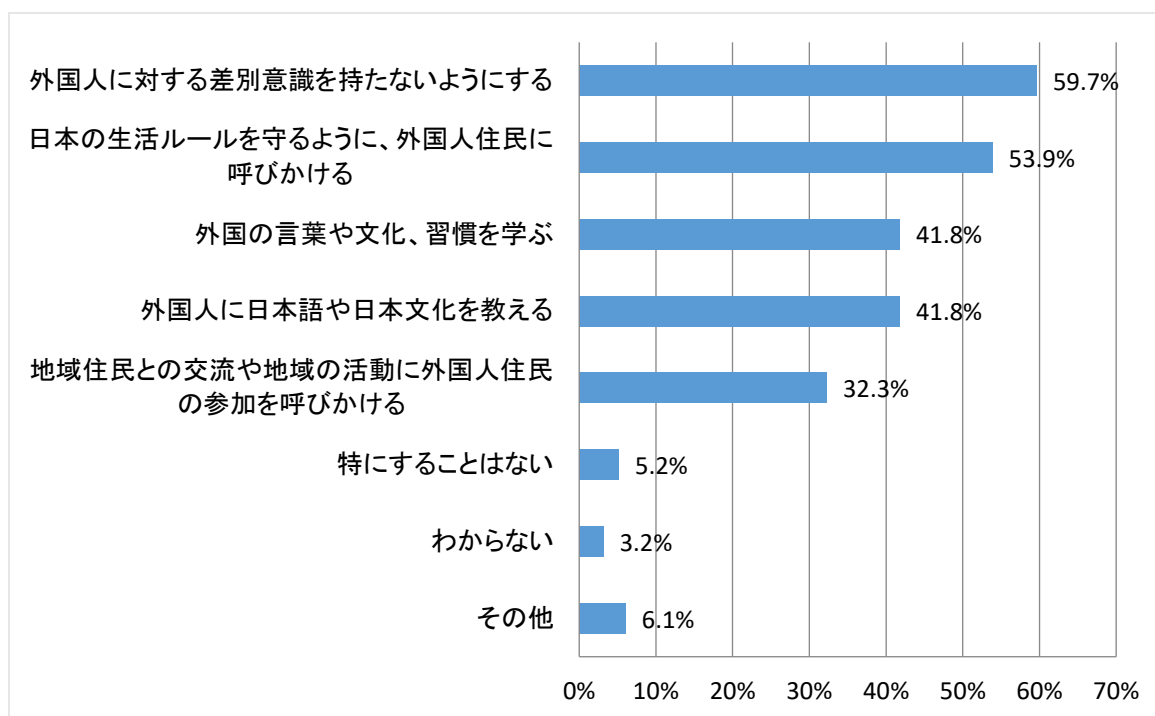
〔問８〕 あなたは、地域社会で外国人住民と共に暮らすことについて、どう思いますか。次の中から３つまで選んでください。

回答者数 347		
選択肢	回答者数	構成比
外国の言葉や文化などを学ぶ機会が増える	173	49.9%
習慣や文化の違いから、外国人住民とトラブルが起こるおそれがある	173	49.9%
多様性が豊かな社会になる	147	42.4%
治安が悪化するおそれがある	146	42.1%
地域経済の活性化・発展につながる	118	34.0%
日本固有の文化が損なわれる	52	15.0%
日本人の働き口が減る	38	11.0%
特に影響はない	38	11.0%
その他	7	2.0%



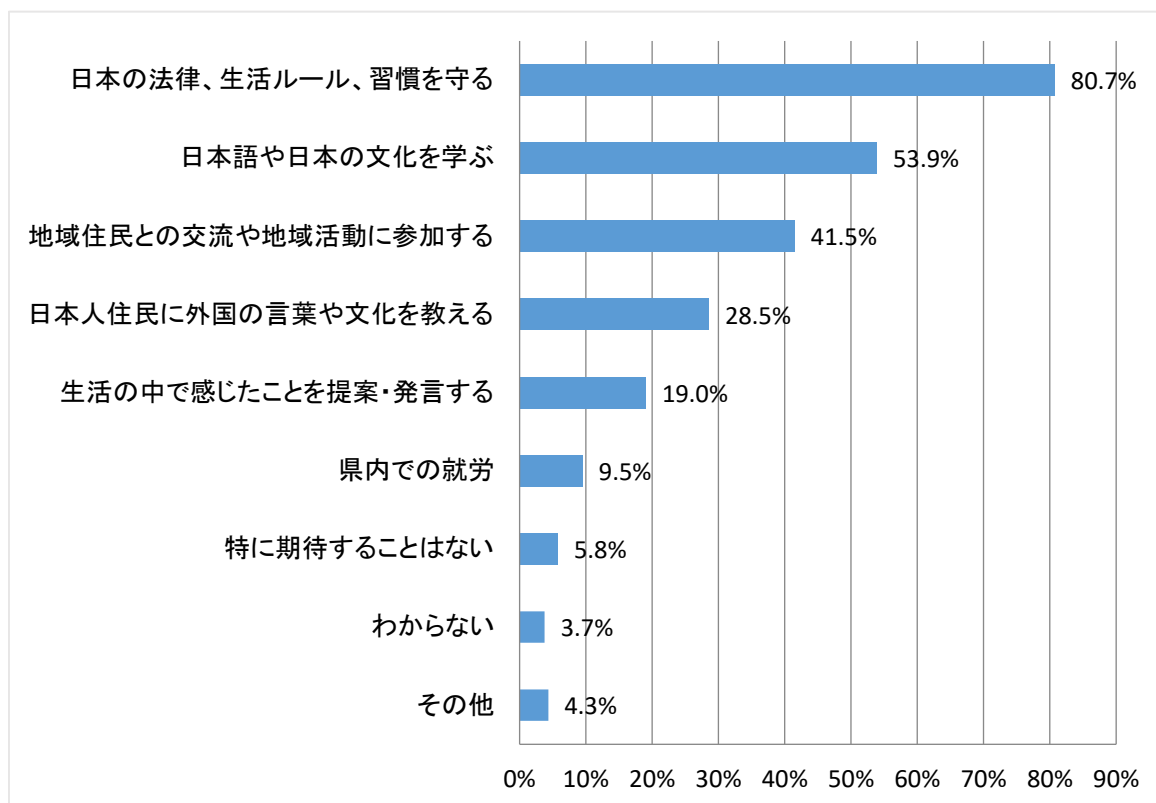
〔問９〕 あなたは、日本人住民と外国人住民が共に暮らしやすい社会にしていくなために、日本人住民は何をすべきだと思いますか。次の中から３つまで選んでください。

回答者数 347		
選択肢	回答者数	構成比
外国人に対する差別意識を持たないようにする	207	59.7%
日本の生活ルールを守るように、外国人住民に呼びかける	187	53.9%
外国の言葉や文化、習慣を学ぶ	145	41.8%
外国人に日本語や日本文化を教える	145	41.8%
地域住民との交流や地域の活動に外国人住民の参加を呼びかける	112	32.3%
特にすることはない	18	5.2%
わからない	11	3.2%
その他	21	6.1%



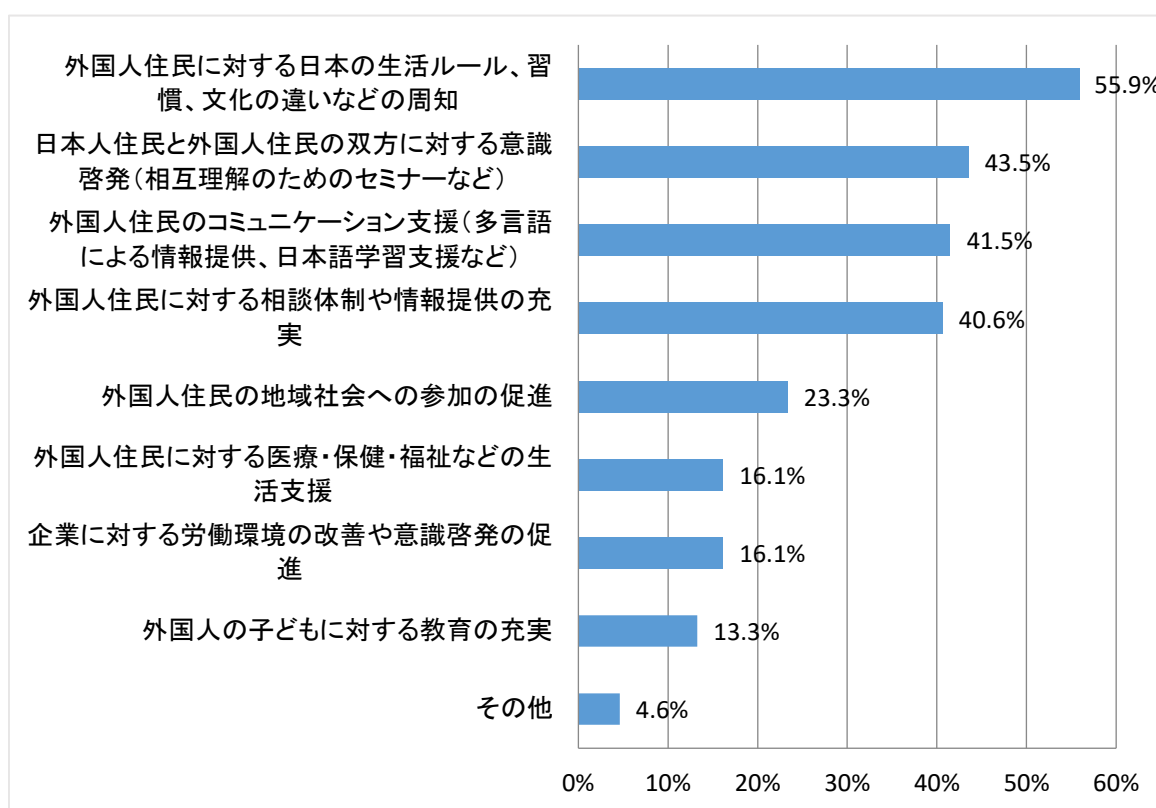
〔問１０〕 あなたは、日本人住民と外国人住民が共に暮らしやすい社会にしていけるために、外国人住民にどのようなことを期待しますか。次の中から３つまで選んでください。

回答者数		347
選択肢	回答者数	構成比
日本の法律、生活ルール、習慣を守る	280	80.7%
日本語や日本の文化を学ぶ	187	53.9%
地域住民との交流や地域活動に参加する	144	41.5%
日本人住民に外国の言葉や文化を教える	99	28.5%
生活の中で感じたことを提案・発言する	66	19.0%
県内での就労	33	9.5%
特に期待することはない	20	5.8%
わからない	13	3.7%
その他	15	4.3%



〔問１１〕 あなたは、日本人住民と外国人住民が共に暮らしやすい社会にしていくなために、県や市町などの行政が重点的に取り組むべきだと思うことは何ですか。次の中から３つまで選んでください。

回答者数 347	
選択肢	回答者数 構成比
外国人住民に対する日本の生活ルール、習慣、文化の違いなどの周知	194 55.9%
日本人住民と外国人住民の双方に対する意識啓発(相互理解のためのセミナーなど)	151 43.5%
外国人住民のコミュニケーション支援(多言語による情報提供、日本語学習支援など)	144 41.5%
外国人住民に対する相談体制や情報提供の充実	141 40.6%
外国人住民の地域社会への参加の促進	81 23.3%
外国人住民に対する医療・保健・福祉などの生活支援	56 16.1%
企業に対する労働環境の改善や意識啓発の促進	56 16.1%
外国人の子どもに対する教育の充実	46 13.3%
その他	16 4.6%



※ 表中の構成比は、四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。